

令和2年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

| 提案区 | 番号 | 項目 | 提案内容の概要 | 所管局 | 対応 ※一部対応含む |
|-----|----|--|---|------------|---------------|
| 旭 | 1 | 相鉄都心直通化を機としたこども自然公園への 公民連携等による柔軟な整備・マネジメント手法の導入 | 1 こども自然公園のポテンシャルを活かした柔軟な整備 やマネジメント手法の導入 2 パークPFIなど、公民連携手法の導入の検討 3 民間事業者が参入しやすい環境づくり | 環境創造局 | ○ |
| 旭 | 2 | 旧若葉台西中学校の本格活用の早期実現 | 1 本格活用の条件整理 2 局からの予算配分を受けて区が区局連携事業として実施 3 設備修繕工事及び本格活用の増築・改修工事の設計 | 市民局 財政局 | ○ |
| 旭 | 3 | 旭区庁舎の執務環境及び市民対応窓口等の 環境改善 | 1 別棟（別館・新館）における換気・空調設備の更新 2 本館1階全体の配置の見直し | 市民局 | ○ |
| 旭 | 4 | 連続立体交差事業及び鶴ヶ峰駅北口周辺まち づくりと連携した旭区庁舎等再編整備の推進 | 旭区庁舎等再編整備の計画検討 | 市民局 | ○ |
| 旭 | 5 | 旭区内のコミュニティハウスの整備促進 | 未整備地区における地域ニーズの把握、周辺類似施設 の利用状況、設置場所、整備手法等の検討 | 市民局 | — |
| 旭 | 6 | 帷子川緑道の整備 | 1 下水道の設計・整備 2 公園部の詳細設計 | 環境創造局 | ○ |
| 旭 | 7 | 横浜環状鉄道の早期延伸 | 1 事業性をさらに高めるための検討の継続 2 中山～二俣川經由～東戸塚間の先行整備に向けた取組 | 都市整備局 | ○ |
| 旭 | 8 | 都市計画道路の整備促進 | 1 鴨居上飯田線や保土ヶ谷二俣川線の現在整備中区間の 早期完了 2 未着手路線・区間の早期着手に向けた検討調査 | 道路局 | ○ |
| 旭 | 9 | 横浜動物の森公園中央道路延伸 | 中央道路の計画の深度化に係る設計等 | 環境創造局 | ○ |
| 旭 | 10 | 白根地区センターにおける体育室内バスケット ゴールの更新 | 体育室内の可動式バスケットゴールの更新 | 市民局 | ○ |
| 旭 | 11 | 精神障害者生活支援センターB型の機能強化 に向けた施設整備 | 1 機能拡充法人への移転等経費の補助 2 機能拡充法人への移転後の家賃補助額の増額 | 健康福祉局 | ○ |
| 旭 | 12 | 戦没者特別弔慰金の円滑な請求受付 | 1 請求受付が円滑かつ効率的に行うために必要な人的措 置や方法を含めた執行体制作り 2 市民からの相談や請求方法等の問合せに対して、適切 に対応できる体制作り（専用コールセンター設置等） 3 請求受付に伴う書類管理に必要な事務用品や備品等に 関する予算配当 4 請求時に必要な戸籍情報（戸籍の証明書）に関して、 戸籍課との連携と協力体制確立に向けての市民局窓口サー ビス課との調整 5 請求受付を適切かつ迅速に行うことに特化した手順書 の整備 | 健康福祉局 | ○ |
| 旭 | 13 | 窓口の待ち時間の短縮 | 1 横浜市区役所嘱託員就業要綱別表の改正 2 現行単価に窓口業務分を上乗せ | 健康福祉局 | — |

令和2年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

| 提案区 | 番号 | 項目 | 提案内容の概要 | 所管局 | 対応 ※一部対応 含む |
|-----|----|---------------------------------|---|-------|-------------------|
| 旭 | 14 | 狭あい道路拡幅整備事業の推進 | <ol style="list-style-type: none"> 1 狭あい道路拡幅整備事業の推進 2 地域からの要望、相談などに対する積極的な説明などの実施 | 建築局 | ○ |
| 旭 | 15 | 白根通り拡幅事業の早期完成 | <ol style="list-style-type: none"> 1 用地取得の推進 2 用地取得済み部分からの先行工事の実施 | 道路局 | ○ |
| 旭 | 16 | 落ち葉時期に対応した車道清掃 | 落ち葉時期に対応した車道清掃の高頻度化 | 道路局 | ○ |
| 旭 | 17 | 帷子川河川改修事業(上川井地区)による学校橋架け替えの早期完成 | 学校橋架け替え(河川改修事業)の早期完成 | 道路局 | ○ |
| 旭 | 18 | 南本宿公園改良整備事業 | <ol style="list-style-type: none"> 1 密集樹木の間伐 2 園路等再整備 3 排水設備改良 | 環境創造局 | ○ |

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

| | |
|------|-------|
| 所管局名 | 環境創造局 |
|------|-------|

| | | | |
|------|----|-------|----------|
| 旭区 | | 区政推進課 | |
| 担当者名 | 片岡 | TEL | 954-6026 |
| 共通区 | | | |

| | | | |
|------|----|------|--|
| 継続年数 | 新規 | 添付資料 | |
|------|----|------|--|

| 番号 | 提案種別 | 項目 |
|--------------|------|--|
| 1 | 予算関連 | 相鉄都心直通化を機としたこども自然公園への公民連携等による柔軟な整備・マネジメント手法の導入 |
| | 制度関連 | |
| 地域のニーズと解決策 | | <p>◇地域の課題、基礎データ等</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て世代の減少や超高齢社会の進展を踏まえ、相鉄都心直通化を好機と捉え、若い世代をはじめ、多世代に選ばれるまちづくりが必要です。 こども自然公園は、二俣川駅、南万騎が原駅から徒歩圏内に位置する広域公園で、新旧の大規模イベントが開催されるなど、優れたポテンシャルを持っています。 一方、ポテンシャルをさらに発揮するためには、それに見合った整備やマネジメントの導入が求められます。 <p>◇地域ニーズ等の収集手段</p> <p>■ 1 日常の窓口対応等 □ 2 市民からの提案等 □ 3 地区担当制 □ 4 地域懇談会等 ■ 5 区民アンケート □ 6 区民要望 ■ 7 関係団体からの要望 □ 8 その他 ()</p> <p>◇区民からの具体的な要望</p> <ul style="list-style-type: none"> 旭区の魅力を高め、多くの方々に選ばれ続けるまちにしていかなければなりません。 イベント会場までの園路が砂利道であるため、車いすやベビーカーを使用しにくい場所があります。 <p>◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。</p> <p>こども自然公園で旭区が共催する事業について、主催者への運営に関する助言等</p> <p>◇課題解決のための方策</p> <ol style="list-style-type: none"> こども自然公園のポテンシャルが発揮できるための整備や柔軟なマネジメント手法の早期導入 特に、Park-PFIなどの公民連携手法の導入可能性の検討 上記を進めるにあたり、必要に応じた、民間事業者の参入環境の整備 |
| 提案内容・概算額等 | | 広域公園等のパークマネジメントプラン策定調査費 ■■■ 千円 (環境創造局公園緑地管理課) |
| 参考：区執行体制上の課題 | | 現行の体制で対応 |
| 局事業名 | | 環境創造局公園維持管理事業 |
| 所管局課・担当者 | | 環境創造局公園緑地管理課 今村係長 環境創造局北部公園緑地事務所 樫係長 環境創造局公園緑地整備課 臼田係長 |

◆局回答内容

| | | | |
|-------|---|---------------------------|--|
| 環境創造局 | | 公園緑地管理課、北部公園緑地事務所、公園緑地整備課 | |
| 担当者名 | 今村 (公園緑地管理課)、樫 (北部公園緑地事務所)、臼田 (公園緑地整備課) | TEL | 公園緑地管理課 (671-2643)、北部公園緑地事務所 (353-1166)、公園緑地整備課 (671-2632) |

| 対応の有無 | 対応する | 予算対応する |
|---------|---|--------|
| 対応する場合 | ◇対応の内容 令和元年9月に策定した「公園における公民連携に関する基本方針」に沿った、パークマネジメントプランの策定の候補として予算計上します。 | |
| 対応しない場合 | ◇課題に対する局の考え方 | |
| | ◇対応する場合の課題 | |

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名 市民局・財政局

旭区 区政推進課
担当者名 馬立 TEL 954-6027
共通区

継続年数 新規 添付資料

Table with 3 columns: 番号, 提案種別, 項目. Includes details for '旧若葉台西中学校の本格活用の早期実現' and '地域のニーズと解決策'.

局回答内容

市民局 区連絡調整課
担当者名 櫻井・三浦 佐々木・市川 TEL 671-3373 671-3583

Table with 3 columns: 対応の有無, 対応する, その他. Includes '対応する場合' and '対応しない場合' sections.

| | | | |
|------|----|-------|----------|
| 財政局 | | 資産経営課 | |
| 担当者名 | 小林 | TEL | 671-2273 |

| 対応の有無 | 対応する | 既存の事業で対応する |
|---------|--|------------|
| 対応する場合 | ◇対応の内容 公共公益性な利用を含め、スキームや事業者選定手法、役割分担を整理し、跡地活用に向けた検討を庁内関係部署とともに進めます。 | |
| | ◇課題に対する局の考え方 | |
| 対応しない場合 | ◇対応する場合の課題 | |
| | | |

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

| | |
|------|-----|
| 所管局名 | 市民局 |
|------|-----|

| | | | |
|------|-------|-----|----------|
| 旭区 | | 総務課 | |
| 担当者名 | 藤井・植田 | TEL | 954-6011 |
| 共通区 | | | |

| | | | |
|------|----|------|--|
| 継続年数 | 2年 | 添付資料 | |
|------|----|------|--|

| 番号 | 提案種別 | 項目 |
|--------------|--|------------------------------|
| 3 | 予算関連 <input checked="" type="checkbox"/> | 旭区庁舎の執務環境及び市民対応窓口等の環境改善 |
| | 制度関連 <input type="checkbox"/> | |
| 地域のニーズと解決策 | ◇地域の課題、基礎データ等 区庁舎竣工から約50年が経ちこの間に人口は約10万人増加する中、2つの別棟の増設で対応しましたが、市民サービスの多様化等の中で狭あい化と老朽化が課題です。昨年度、別棟のレイアウトを見直すことで一部改善しましたが、依然として施設老朽化、本館1階の執務環境の悪化など改善が必要な状況です。 【主な課題】 執務空間の狭あい化、空調・室温等衛生環境の悪化、相談者のプライバシー配慮、待合スペースの狭さ、 | |
| | ◇地域ニーズ等の収集手段 ■ 1 日常の窓口対応等 □ 2 市民からの提案等 □ 3 地区担当制 □ 4 地域懇談会等 □ 5 区民アンケート □ 6 区民要望 □ 7 関係団体からの要望 □ 8 その他 () | |
| | ◇区民からの具体的な要望 ハード面での窓口案内の不明確さ、待合場所の狭さに対する不満が多くなっています。また、狭あい化が厳しい職場からは、抜本的な執務環境の改善が要望されています。別館・新館の空気環境については測定結果から改善が望ましい状況です。 | |
| | ◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 執務環境については、緊急度の高い案件を優先に、予算内で小規模な改善を繰り返してきました。平成30年度は市民局予算で別館・新館のレイアウト変更・環境改善を実施しました。令和元年度の運営方針にも、「庁舎環境改善」を盛り込んでおり、取組を進める一方で区予算では大がかりな改修の経費を捻出することは困難な状況です。 | |
| | ◇課題解決のための方策 1 別棟（別館・新館）は、空調・換気設備の更新を行うことで環境を改善できると考えます。 2 本館1階の戸籍課・保険年金課待合空間等については、フロア全体で最適な配置を検討し、対応していくことで、執務空間及び待合空間双方の改善ができると考えられます。 | |
| | 提案内容・概算額等 | 1 棟（別館・新館）における空調設備の更新 ■■■ 千円 |
| 参考：区執行体制上の課題 | 現行の体制で対応 | |
| 局事業名 | 区庁舎・周辺施設利活用事業／区庁舎設備等改修事業 | |
| 所管局課・担当者 | 市民局地域施設課 | |

◆局回答内容

| | | | |
|------|--------|-------|----------|
| 市民局 | | 地域施設課 | |
| 担当者名 | 中村・屋富祖 | TEL | 671-2086 |

| 対応の有無 | 対応する | 既存の事業で対応する |
|---------|---|------------|
| 対応する場合 | ◇対応の内容 別棟（別館・新館）の空調・換気設備の更新について、工事費を計上します。 | |
| | ◇課題に対する局の考え方 | |
| 対応しない場合 | ◇対応する場合の課題 | |
| | | |

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査書

| | | | | | | |
|------|-----|------|-------|-------|----------|--|
| 所管局名 | 市民局 | 旭区 | | 区政推進課 | | |
| | | 担当者名 | 岡部、山崎 | TEL | 954-6026 | |
| | | 共通区 | | | | |
| | | 継続年数 | 新規 | 添付資料 | | |

| 番号 | 提案種別 | 項目 |
|--|--|--|
| 4 | <input checked="" type="checkbox"/> 予算関連 <input type="checkbox"/> 制度関連 | 連続立体交差事業及び鶴ヶ峰駅北口周辺まちづくりと連携した旭区庁舎等再編整備の推進 |
| 地域のニーズと解決策 | ◇地域の課題、基礎データ等 【旭区庁舎の現況と課題】 1 老朽化 総合庁舎の本館は昭和46年に竣工し、平成14年に耐震改修が行われています。築40年経過した平成22年以降、老朽化が顕在化し、修繕や設備更新を毎年度実施しています。 2 狭あい化 総合庁舎は、平成7年に別館、同15年に新館が増築されましたが、特に福祉部門では、窓口や書類が分散する等の課題を抱えています。また、駐車場が不足しているため、厚木街道まで渋滞が続き、渋滞が頻繁に発生しています。 3 交通アクセス 鶴ヶ峰駅やバスターミナルから総合庁舎に向かう坂本鶴ヶ峰線は、歩道が狭く歩行者と自転車が錯綜して危険な状況がみられます。 | |
| | 【連続立体交差事業と北口周辺のまちづくり】 1 鶴ヶ峰付近の事業予定区間には5箇所の開かずの踏切があり、線路により南北が分断されていること、周辺道路に慢性的な渋滞が発生していること、緊急活動へ影響を及ぼす可能性があることなど、踏切を起因とした課題が数多くあり、これらの課題を一挙に解決できる連続立体交差事業が求められています。 2 鶴ヶ峰駅は5.6万人/日の利用があり、約550本/日の路線バスが発着する旭区の交通拠点となっています。 3 バスターミナルが駅から250m離れ、乗換が不便になっています。 4 一般車の乗降場がなく、駅利用者と自動車がかさねやすくなっています。 5 駅前に低未利用地が多く存在しています。(旧市営住宅跡地約8,000㎡など) 6 地権者で組織されたまちづくり協議会が組織され、まちづくりの検討が行われています。 7 今後は、都市計画、環境影響評価等の手続きを進め、鶴ヶ峰駅付近の上部利用方法や整備時期等について、北口地区まちづくりと調整が必要となります。 | |
| | ◇地域ニーズ等の収集手段 ■1 日常の窓口対応等 □2 市民からの提案等 □3 地区担当制 ■4 地域懇談会等 □5 区民アンケート □6 区民要望 □7 関係団体からの要望 ■8 その他(旭区プラン策定にも多く意見を頂いた) | |
| | ◇区民からの具体的な要望 1 平成28年3月に連合自治会町内会連絡協議会が連続立体交差事業の早期事業化や地下化による整備について、市長及び市会議員に要望書を提出 2 平成28年12月に鶴ヶ峰駅北口再開発協議会が連続立体交差事業の地下方式の採用や、鶴ヶ峰駅北口の再開発との連携を行う旨の要望書を市長へ提出 3 平成29年度の検討会や平成30年4月、5月に行われた鶴ヶ峰北口のまちづくりに関する懇談会を経て、踏切の除却だけでなく水道道の渋滞解消や、バスターミナルやタクシー乗り場の再整備、鶴ヶ峰の特色のある再開発を希望する意見が出されました。 | |
| | ◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 1 地権者組織の鶴ヶ峰駅北口再開発協議会の活動にも継続して参加しています。 2 中期4か年計画案では連続立体交差事業を契機に、区役所や公会堂の立地を生かした行政機能と文化施設の充実したまちなど鶴ヶ峰駅北口周辺の目標を位置付けました。 3 「横浜市都市マスタープラン旭区プラン」では、鶴ヶ峰駅周辺を行政機能と文化施設の充実したまちづくりを行う等の目標を位置付けました。 4 区運営方針では、連続立体交差事業と連携し、地域と一緒に駅周辺の利便性の向上を目指したまちづくりを進めていくものと位置付けました。 5 鶴ヶ峰駅北口のまちづくり構想では、駅の利便性の向上を図るため、駅周辺での行政・文化施設での更新について位置付けました。 | |
| ◇課題解決のための方策 両事業を連携して、旭区庁舎等の再編整備の検討を進めていく必要があります。 | | |
| 提案内容 概算額等 | 旭区庁舎等再編整備の計画検討に要する費用(千円) | |
| 参考：区執行体制上の課題 | 現行の体制で対応 | |
| 局事業名 | | |
| 所管局課・担当者 | 市民局地域施設課 中村係長 | |

◆局回答内容

| | | | |
|------|--------|-------|----------|
| 市民局 | | 地域施設課 | |
| 担当者名 | 中村・屋富祖 | TEL | 671-2086 |

| 対応の有無 | 対応する | 既存の事業で対応する |
|---------|---|------------|
| 対応する場合 | ◇対応の内容 関係区局と連携しながら、連続立体交差事業や鶴ヶ峰駅北口周辺のまちづくりの動きに合わせて検討を進めていきます。 | |
| 対応しない場合 | ◇課題に対する局の考え方 | |
| | ◇対応する場合の課題 | |

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

Header information table including '旭区' (Asahi Ward), '環境創造局' (Environment Creation Bureau), '担当' (In-charge) '岡部、山崎', and '継続年数' (Continuation period) '7年以上'.

Main proposal details table. Includes '番号' (No. 6), '提案種別' (Proposal type), '項目' (Item: 帷子川緑道の整備), and '地域のニーズと解決策' (Local needs and solutions) section with detailed text and a list of measures.

局回答内容 (Bureau Response Content)

Response header table for '環境創造局' (Environment Creation Bureau) and '管路整備課' (Pipe Maintenance Section), listing '担当' (In-charge) '吉野、白田' and contact info.

Response content table with columns for '対応の有無' (Response status), '対応する' (Response), and '予算対応する' (Budget response). Includes '対応する場合' (When responding) and '対応しない場合' (When not responding) sections.

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

| | |
|------|-------|
| 所管局名 | 都市整備局 |
|------|-------|

| | | | |
|------|-------|-------|----------|
| 旭区 | | 区政推進課 | |
| 担当者名 | 岡部、山崎 | TEL | 954-6026 |
| 共通区 | | | |

| | | | |
|------|------|------|--|
| 継続年数 | 7年以上 | 添付資料 | |
|------|------|------|--|

| 番号 | 提案種別 | 項目 |
|--------------|---|-------------|
| 7 | 予算関連 <input checked="" type="checkbox"/> | 横浜環状鉄道の早期延伸 |
| | 制度関連 <input type="checkbox"/> | |
| 地域のニーズと解決策 | ◇地域の課題、基礎データ等 | |
| | <p>1 平成26年2月「横浜市における鉄道を軸とした交通体系について」において、全線整備により市域の一体化や交通利便性の向上が期待されますが、多額の費用を要することから長期的に取り組む路線としています。</p> <p>2 グリーンラインやみなどみらい線に隣接する区間から事業性を高めるための検討を進めることが示されています。</p> <p>3 平成28年4月に「東京圏における今後の都市鉄道のあり方」について、交通政策審議会から国土交通大臣へ答申がなされ、横浜環状鉄道が「東京圏の都市鉄道が目指すべき姿」を実現する上で意義のあるプロジェクトの中の「地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクト」の内の1つとして位置付けられました。</p> <p>4 最寄駅まで15分で到達できない交通不便地域が、旭区は市内でも特に広く分布しています。この中には、若葉台・左近山・ひかりが丘といった大規模団地のほか、多くの住宅地が含まれています。</p> <p>5 横浜市都市交通計画の改定時の意見募集では、交通課題に対しての早期対応に関する要望書を横浜市長へ提出しました。</p> | |
| | ◇地域ニーズ等の収集手段 | |
| | <p>■1 日常の窓口対応等 □2 市民からの提案等 ■3 地区担当制 ■4 地域懇談会等</p> <p>□5 区民アンケート ■6 区民要望 ■7 関係団体からの要望</p> <p>□8 その他 ()</p> | |
| | ◇区民からの具体的な要望 | |
| | <p>市長宛要望書、タウンミーティング等の機会に、以下の要望を受けています。</p> <p>1 交通不便地域の解消が、若年層の地域離れ、高齢者の外出機会減少に歯止めを掛け、地域発展につながる。</p> <p>2 平成30年7月2日に旭区区連会から市長へ要望書の提出（11月30日回答）</p> <p>3 令和元年度のタウンミーティング（若葉台、今宿、左近山）で早期整備について要望を受ける。</p> <p>4 横浜国際プールや歴史博物館等のグリーンライン（日吉～中山）沿線に位置する市の主要な施設へのアクセス性向上のほか、郊外部の地域間交流が活発になり市域が一体となる。</p> <p>5 スーパリア等、旭区内の施設へのアクセス性向上により、更なる集客と周辺道路の渋滞が解消される。</p> | |
| | ◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 | |
| | <p>1 「横浜市都市マスタープラン旭区プラン（Ⅲまちづくりの方針 2交通の方針）」に位置づけています。</p> <p>2 横浜市中期4か年計画2018～2022、横浜都市交通計画に事業化の推進に向けた検討を行うことを位置づけています。</p> | |
| | ◇課題解決のための方策 | |
| | <p>横浜環状鉄道には、旭区内の交通不便地域の解消だけでなく、市内各所を繋げることで郊外部の活性化にも寄与するため、実現に向けた検討・調査を行います。</p> | |
| 提案内容・概算額等 | <p>1 横浜環状鉄道について事業性をさらに高めるための検討の継続</p> <p>2 既存路線のグリーンラインの隣接する区間である中山～二俣川經由～東戸塚間の先行整備に向けた取組</p> | |
| 参考：区執行体制上の課題 | 現行の体制で対応 | |
| 局事業名 | 鉄道計画検討調査 | |
| 所管局課・担当者 | 都市整備局都市交通課 楡係長 | |

◆局回答内容

| | | | |
|-------|------|-------|----------|
| 都市整備局 | | 都市交通課 | |
| 担当者名 | 楡、村野 | TEL | 671-2021 |

| 対応の有無 | 対応する | 既存の事業で対応する |
|---------|--|------------|
| 対応する場合 | ◇対応の内容 横浜環状鉄道を含む交通政策審議会答申に位置付けられたプロジェクト等について、引き続き検討調査を実施するための予算（鉄道計画検討調査の一部）の中で検討します。 | |
| 対応しない場合 | ◇課題に対する局の考え方 | |
| | ◇対応する場合の課題 | |

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名 道路局

旭区 区政推進課
担当者名 岡部、山崎 TEL 954-6026
共通区

継続年数 7年以上 添付資料

Table with 3 columns: 番号, 提案種別, 項目. Row 8: 都市計画道路の整備促進. Content includes: 地域の課題、基礎データ等, 地域ニーズ等の収集手段, 区民からの具体的な要望, これまでの区としての対応, 課題解決のための方策.

局回答内容

道路局 企画課、建設課
担当者名 周治、原(企画課) 中嶋(建設課) TEL 671-2777(企) 671-3542(建)

Table with 3 columns: 対応の有無, 対応する, 既存の事業で対応する. Row 1: 対応する場合. Content includes: 対応の内容, 鴨居上飯田線及び保土ヶ谷二俣川線について... 対応しない場合. Content includes: 課題に対する局の考え方, 対応する場合の課題.

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

| | | | | | |
|------|-------|------|-------|-------|----------|
| 所管局名 | 環境創造局 | 旭区 | | 区政推進課 | |
| | | 担当者名 | 岡部、山崎 | TEL | 954-6026 |
| | | 共通区 | | | |
| | | 継続年数 | 3年 | 添付資料 | |

| 番号 | 提案種別 | 項目 |
|------------|--|--|
| 9 | 予算関連 <input checked="" type="checkbox"/> | 横浜動物の森公園中央道路延伸 |
| | 制度関連 <input type="checkbox"/> | |
| 地域のニーズと解決策 | | ◇地域の課題、基礎データ等 1 平成29年の全国都市緑化よこはまフェア期間中に里山ガーデンを訪れた方の1/5が旭区民であり、旭区DAYではステージ出演にも意欲的にご参加いただきました。里山ガーデンは区民に愛される財産として、暫定公開の際にも多くの区民が来場しました。今年度も約14万5千人が来場し、大いに盛り上がりました。 2 一方で、開園以来ズーラシアの駐車場利用等に伴う交通渋滞が発生しており、今年度のタウンミーティングでも、議題として取り上げ、強く対応を求められています。今後、より多くの来場者を迎える上でアクセスの利便性を、総合的に考えていくことが不可欠です。 3 本年9月からはPark-PFIを活用したアスレチック施設等が順次オープンしていく予定であり、より多くの集客が見込まれる状況です。 |
| | | ◇地域ニーズ等の収集手段 ■1 日常の窓口対応等 ■2 市民からの提案等 ■3 地区担当制 ■4 地域懇談会等 □5 区民アンケート ■6 区民要望 □7 関係団体からの要望 □8 その他 () |
| | | ◇区民からの具体的な要望 1 平成28年10月に隣接する川井地区町内会自治会連合会が渋滞解消に関する市長陳情を提出 2 令和元年度のタウンミーティングでは、3つの地区連合自治会町内会（上白根、旭北、今宿）が「中央通路の整備」を継続して議題として取り上げ、早期の渋滞解消を強く要望 |
| | | ◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 1 平成29年度に横浜動物の森公園中央通路の整備促進及び里山ガーデン跡地の早期本格活用について区提案反映制度で提案 2 「横浜市都市計画マスタープラン旭区プラン」では、ズーラシア周辺の交通環境の改善を行っていくことを位置付けました。 3 区運営方針では、横浜動物の森公園の整備推進を位置付けました。 |
| | | ◇課題解決のための方策 中央道路延伸による交通渋滞の早期解消 1 中央道路の計画の深度化（設計予算の計上） 2 中央道路延伸を進める上で、三保街道の安全確保及びボトルネック箇所等の解消に向けた検討 3 来場者用駐車場の増設 |
| | | 提案内容・概算額等 中央道路の計画の深度化に係る設計費用等 |
| | | 参考：区執行体制上の課題 局事業名 所管局課・担当者 |

◆局回答内容

| | | | |
|-------|----|---------|----------|
| 環境創造局 | | 公園緑地整備課 | |
| 担当者名 | 河村 | TEL | 671-4125 |

| | | |
|---------|---|------------|
| 対応の有無 | 対応する | 既存の事業で対応する |
| 対応する場合 | ◇対応の内容 中央道路の延伸については、引き続き、道路の設計や測量等を進めてまいります。 | |
| | ◇課題に対する局の考え方 | |
| 対応しない場合 | ◇対応する場合の課題 | |

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

| | |
|------|-----|
| 所管局名 | 市民局 |
|------|-----|

| | | | |
|------|-------|-------|----------|
| 旭区 | | 地域振興課 | |
| 担当者名 | 田中、野崎 | TEL | 954-6097 |
| 共通区 | | | |

| | | | |
|------|----|------|--|
| 継続年数 | 新規 | 添付資料 | |
|------|----|------|--|

| 番号 | 提案種別 | 項目 |
|--------------|--|---|
| 10 | 予算関連 <input checked="" type="checkbox"/> | 白根地区センターにおける体育室内バスケットゴールの更新 |
| | 制度関連 <input type="checkbox"/> | |
| 地域のニーズと解決策 | | ◇地域の課題、基礎データ等 1 白根地区センターは区役所に近接することから、賀詞交換会や自治会感謝会などの区行事にも多数利用され、区内の他施設と比較しても非常に重要な役割を果たしています。 2 当該地区センター体育室は、昭和58(1983)年に開設以来、大規模な改修は行われておらず、全体的に老朽化が進行しています。特に可動式バスケットゴールは、平成29年度に故障し、現在も全面コート(公式サイズ)でバスケットボールを行えない状態が続いています。 |
| | | ◇地域ニーズ等の収集手段 ■ 1 日常の窓口対応等 □ 2 市民からの提案等 □ 3 地区担当制 □ 4 地域懇談会等 □ 5 区民アンケート ■ 6 区民要望 □ 7 関係団体からの要望 □ 8 その他() |
| | | ◇区民からの具体的な要望 1 故障以来、地区センター窓口や区役所に対し、修理依頼や設備の早期更新などについて利用者からご意見・投書が寄せられています。 2 設置から35年が経過し、取付状態に対する不安の声も上がっています。 |
| | | ◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 1 故障直後は、体育室全面をバスケットボールで使用する利用者に、利用料を返金対応しました。その後は、バスケットボールの全面利用を控えるよう、お願いしています。 2 市民局に対して、平成30年6月26日に修繕費区配要望を行い、平成31年4月12日には区内施設の要修繕案件として、他案件とともにリスト化し、提出しました。 |
| | | ◇課題解決のための方策 設備(ゴール)自体が古く、業者から、修理で対応することは難しいと伝えられています。そのため、設備更新が必要となります。 |
| | | 提案内容・概算額等 |
| 参考：区執行体制上の課題 | 現行の体制で対応 | |
| 局事業名 | | |
| 所管局課・担当者 | 市民局地域施設課 加藤係長、村田 | |

◆局回答内容

| | | | |
|------|----|-------|----------|
| 市民局 | | 地域施設課 | |
| 担当者名 | 安見 | TEL | 671-2328 |

| 対応の有無 | 対応する | 既存の事業で対応する |
|---------|--|------------|
| 対応する場合 | ◇対応の内容 白根地区センターにおける体育室内バスケットゴールの更新は、メリットシステムを活用して対応します。 | |
| | ◇課題に対する局の考え方 | |
| 対応しない場合 | ◇対応する場合の課題 | |
| | | |

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名 健康福祉局

旭区 高齢・障害支援課
担当者名 三木 TEL 954-6128
共通区

継続年数 新規 添付資料

番号 11 提案種別 予算関連 制度関連 項目 精神障害者生活支援センターB型の機能強化に向けた施設整備
地域ニーズと解決策
◇地域の課題、基礎データ等
◇地域ニーズ等の収集手段
◇区民からの具体的な要望
◇これまでの区としての対応
◇課題解決のための方策
提案内容・概算額等
参考：区執行体制上の課題
局事業名
所管局課・担当者

局回答内容

健康福祉局 障害支援課
担当者名 黒米 TEL 671-3821

対応の有無 対応する 既存制度の見直しを行う
対応する場合
対応しない場合

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名 健康福祉局

旭区 生活支援課
担当者名 大井 TEL 954-6100
共通区 鶴見、中、港南、保土ヶ谷、磯子、金沢、緑、港北、青葉、戸塚、栄、泉、瀬谷

継続年数 新規 添付資料

番号 12 提案種別 予算関連 制度関連 項 目 戦没者特別弔慰金の円滑な請求受付
◇地域の課題、基礎データ等
1 請求受付の長時間化
2 請求者の負担
3 請求者からの電話対応
4 生活支援課事務係の影響
◇地域ニーズ等の収集手段
◇区民からの具体的な要望
◇これまでの区としての対応
◇課題解決のための方策
提案内容・概算額等 健康福祉局の予算で対応
参考：区執行体制上の課題 現行の体制で対応
局事業名 戦没者遺族援護事業
所管局課・担当者 健康福祉局生活支援課 沖山係長

局回答内容

健康福祉局 生活支援課援護対策担当
担当者名 沖山 TEL 671-2425

対応の有無 対応する 既存の事業で対応する
対応する場合 ◇対応の内容
当該事務処理については、前回第10回特別弔慰金支給に際して、事務の大幅な遅延などに関して、支給手続きの改善について総務省から厚生労働省に申入れがなされているところであり、スムーズな事務が執行できるよう神奈川県にも協力を得ながら努めていきます。
対応しない場合 ◇課題に対する局の考え方
◇対応する場合の課題

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

| | |
|------|-----|
| 所管局名 | 建築局 |
|------|-----|

| | | | |
|------|----|-------|----------|
| 旭区 | | 土木事務所 | |
| 担当者名 | 遠藤 | TEL | 953-8801 |
| 共通区 | | | |

| | | | |
|------|----|------|--|
| 継続年数 | 6年 | 添付資料 | |
|------|----|------|--|

| 番号 | 提案種別 | 項目 |
|--|--|----------------|
| 14 | 予算関連 | 狭あい道路拡幅整備事業の推進 |
| | 制度関連 | |
| 地域のニーズと解決策 | ◇地域の課題、基礎データ等 | |
| | 旭区は、狭あい道路が多く、「狭あい道路整備促進路線」が約62km指定され、市内18区中1位となっています。タウンミーティングや地域住民からは、道路が狭くて危ない、緊急車両がすれ違えない等の要望が多数寄せられています。しかし、狭あい道路拡幅整備事業は、地権者の申請により拡幅が行われるため、建替え時でない限り整備事業が実施されない現状があり、とりわけ区内でも「狭あい道路整備促進路線」の集中している「今宿地区」などの地域からは、路線型による計画的な整備を望む声が高まっています。 | |
| | ◇地域ニーズ等の収集手段 | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input checked="" type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 () | |
| | ◇区民からの具体的な要望 | |
| | 連合自治会町内会連絡協議会や今宿地区のタウンミーティングの議題としても長年にわたり取り上げられており、通学路が狭い、緊急車両が通れない、災害時の避難路が危険である等の理由から積極的な拡幅整備の推進を要望されています。 | |
| ◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 | | |
| 市民生活の安全の確保のため、関係課に対し随時、予算配布などの働きかけを行っています。 | | |
| ◇課題解決のための方策 | | |
| 1 引き続き、地域の要望を踏まえた路線型による狭あい道路拡幅整備事業の重点整備及び予算の確保を求めます。 2 「横浜市狭あい道路の整備の促進に関する条例」の改正を踏まえ、本事業の制度の周知・広報などのため、地域から拡幅要望があった場合等には、建築局として事業及び助成制度などの説明を積極的に行うとともに、具体的な要望箇所については建築局から地権者に対して拡幅の働きかけを積極的に実施します。 | | |
| 提案内容・概算額等 | 1 地域の要望を踏まえた路線型による狭あい道路拡幅整備事業の重点整備及び適切な予算確保 2 地域からの要望、相談などに対する積極的な説明の実施 | |
| 参考：区執行体制上の課題 | 現行の体制で対応 | |
| 局事業名 | 狭あい道路拡幅整備事業 | |
| 所管局課・担当者 | 建築局建築防災課 藤本係長 | |

◆局回答内容

| | | | |
|------|----|-------|----------|
| 建築局 | | 建築防災課 | |
| 担当者名 | 藤本 | TEL | 671-4545 |

| 対応の有無 | 対応する | 既存の事業で対応する |
|---------|--|------------|
| 対応する場合 | ◇対応の内容 路線型による拡幅整備の実施にあたっては、地域住民や土地所有者の方の協力が欠かせないことから、地元の取組状況等を確認した上で、区の協力のもと、必要な支援の検討を行い、対応を図ります。 | |
| 対応しない場合 | ◇課題に対する局の考え方 | |
| | ◇対応する場合の課題 | |

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

| | |
|------|-----|
| 所管局名 | 道路局 |
|------|-----|

| | | | |
|------|----|-------|----------|
| 旭区 | | 土木事務所 | |
| 担当者名 | 遠藤 | TEL | 953-8801 |
| 共通区 | | | |

| | | | |
|------|------|------|--|
| 継続年数 | 7年以上 | 添付資料 | |
|------|------|------|--|

| 番号 | 提案種別 | 項目 |
|--|-----------------------------------|---|
| 15 | 予算関連 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 制度関連 | <input type="checkbox"/> |
| 地域のニーズと解決策 | | 白根通り拡幅事業の早期完成 |
| | | ◇地域の課題、基礎データ等 |
| | | 1 白根通りは、鶴ヶ峰駅と周辺地域を結ぶ重要なバス路線であるとともに、幹線道路を結ぶ道路ネットワークとしても重要な役割を担っています。 2 本事業は、昭和62年から事業を開始し、7mの道路を16mに拡幅する事業を行っていますが、一部区間では道路幅員が狭く、歩道のない区間やバスのすれ違いが困難な区間もあり、また、事業期間が長期にわたっていることから地域住民からは早期の完成を強く求められています。 |
| | | ◇地域ニーズ等の収集手段 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input checked="" type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input checked="" type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 () |
| | | ◇区民からの具体的な要望 |
| | | 連合自治会町内会連絡協議会や旭北地区連合自治会のタウンミーティングなどにおいても、長年にわたり議題として取り上げられており、地域住民からは特に斉藤橋付近の早期完成を要望されています。 |
| ◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 | | |
| 斉藤橋については、中堀川の河川護岸の改修と併せて道路拡幅を行う必要があることから、管理者である神奈川県との早期合意に向けて道路局河川部と連携して取り組んでいます。 | | |
| ◇課題解決のための方策 | | |
| 全体2,450mの内、完成済み延長は1,610mとなっています。残る2地区（白根6丁目地区、上白根1丁目地区）の用地取得率は約83%となっていますが引き続き、用地取得を進め、取得できた部分から先行して工事を実施していきます。なお、懸案となっている斉藤橋工区の整備や焼損家屋の用地取得について引き続き、道路局河川部や建設課、区の関係部署とさらなる連携強化を図り、早期整備に向けて取り組んでいきます。 | | |
| 提案内容 概算額等 | 1 用地取得の推進 2 用地取得済み部分からの先行工事の実施 | |
| 参考：区執行体制上の課題 | 現行の体制で対応 | |
| 局事業名 | 道路改良事業 | |
| 所管局課・担当者 | 道路局維持課 徳重係長 | |

◆局回答内容

| | | | |
|------|----|-----|----------|
| 道路局 | | 維持課 | |
| 担当者名 | 徳重 | TEL | 671-2792 |

| 対応の有無 | 対応する | 既存の事業で対応する |
|---------|---|------------|
| 対応する場合 | ◇対応の内容 本案件を踏まえ、対象事業の予算の状況や各区の事業の実施状況等に応じて、配付額を決定いたします。 | |
| 対応しない場合 | ◇課題に対する局の考え方 | |
| | ◇対応する場合の課題 | |

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

| | |
|------|-----|
| 所管局名 | 道路局 |
|------|-----|

| | | | |
|------|----|-------|----------|
| 旭区 | | 土木事務所 | |
| 担当者名 | 遠藤 | TEL | 953-8801 |
| 共通区 | | | |

| | | | |
|------|----|------|--|
| 継続年数 | 3年 | 添付資料 | |
|------|----|------|--|

| 番号 | 提案種別 | 項目 |
|---------------------|------|--|
| 16 | 予算関連 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 制度関連 | <input type="checkbox"/> |
| 地域のニーズと解決策 | | ◇地域課題、基礎データ等 1 旭区では「ニュータウン通り」をはじめ、落葉樹等の街路樹並木を有する道路が多数あるが、落葉時期においては「並木愛護会」等の地域住民に清掃活動のご協力をいただいています。 2 近年の急激な高齢化に伴い、清掃活動の継続が難しい状況になっており、落葉で滑って危ないといった陳情が多数寄せられ、清掃活動を担う地域住民からは落葉季節期間中における車道清掃頻度の増加を強く求められています。 |
| | | ◇地域ニーズ等の収集手段 ■1 日常の窓口対応等 □2 市民からの提案等 ■3 地区担当制 ■4 地域懇談会等 □5 区民アンケート ■6 区民要望 □7 関係団体からの要望 □8 その他 () |
| | | ◇区民からの具体的な要望 これまでに二俣川ニュータウン連合町内会のタウンミーティングの議題としても取り上げられており、地域住民からは落葉時期における車道清掃の実施頻度の増加を求められています。 |
| | | ◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 関係課に対して随時、予算配付などの働きかけを行っています。 |
| | | ◇課題解決のための方策 現在の道路局の配付予算では、区内のバス路線等において概ね月に1度の頻度でしか車道清掃を実施することができないものの、今後、必要な予算を確保し、落葉時期(10~12月)は落葉樹路線で3回/月程度の頻度で車道清掃を実施していく必要があります。 |
| | | 提案内容・概算額等 落葉時期に対応した車道清掃予算の確保を希望する。 |
| 参考：区執行体制上の課題 | | 現行の体制で対応 |
| 局事業名 | | 道路清掃事業 |
| 所管局課・担当者 | | 道路局施設課 北村係長 |

◆局回答内容

| | | | |
|------|----|-----|----------|
| 道路局 | | 施設課 | |
| 担当者名 | 北村 | TEL | 671-2785 |

| 対応の有無 | 対応する | 既存の事業で対応する |
|---------|---|------------|
| 対応する場合 | ◇対応の内容 | |
| | 当該路線については今年度街路樹管理事業の中で障害者就労施設による歩道の落葉清掃委託を実施しており、来年度も継続して実施をお願いします。 | |
| 対応しない場合 | ◇課題に対する局の考え方 | |
| | ◇対応する場合の課題 | |

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

| | | | |
|------|----|-------|----------|
| 旭区 | | 土木事務所 | |
| 担当者名 | 遠藤 | TEL | 953-8801 |
| 共通区 | | | |

| | |
|------|-----|
| 所管局名 | 道路局 |
|------|-----|

| | | | |
|------|------|------|--|
| 継続年数 | 7年以上 | 添付資料 | |
|------|------|------|--|

| 番号 | 提案種別 | 項目 |
|--------------|----------------------|--|
| 17 | 予算関連 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 制度関連 | <input type="checkbox"/> |
| | | 帷子川河川改修事業（上川井地区）による学校橋架け替えの早期完成 |
| | | ◇地域の課題、基礎データ等 |
| | | 1 上川井地区には、水道道・国道16号・旧道の3本の道路が東西方向にあります。この3本を結ぶ南北方向の道路が脆弱であるため、地域が分断されてしまっています。 2 大雨時には学校橋が冠水することから災害時の避難場所である上川井小学校への避難にも支障をきたしており、地域住民からは早期整備を求められています。 3 河川改修事業に合わせて3本の東西方向の道路を結ぶ方向道路(橋)の早期完成が必要です。 |
| | | ◇地域ニーズ等の収集手段 |
| | | <input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input checked="" type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 () |
| | | ◇区民からの具体的な要望 |
| | | これまでに上川井地区タウンミーティングにて河川改修と併せた道路整備を要望されています。 |
| | | ◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 |
| | | 1 平成23年から河川事業課の河川改修と土木の道路整備を併せて実施する方向で検討してきました。 2 概略設計を実施し、25年度に地元説明を行い、その結果、通過交通の増加も考慮し、線形について、26年度に地元と説明を行いました。 |
| | | ◇課題解決のための方策 |
| | | 河川改修事業と併せて国道16号の現道と旧道との間にある学校橋の架け替えを行う予定であるため、これに合わせた橋梁及び道路の整備を早期に行う。河川事業用地を利用するため、用地取得を行うことなく道路整備することができる。 |
| 提案内容・概算額等 | 学校橋架 替え（河川改修事業）の早期完成 | |
| 参考：区執行体制上の課題 | 現行の体制で対応 | |
| 局事業名 | 都市基盤河川改修事業 | |
| 所管局課・担当者 | 道路局河川事業課 長嶋課長補佐 | |

◆局回答内容

| | | | |
|------|----|-------|----------|
| 道路局 | | 河川事業課 | |
| 担当者名 | 長嶋 | TEL | 671-2869 |

| 対応の有無 | 対応する | 既存の事業で対応する |
|---------|---------------------------------------|------------|
| 対応する場合 | ◇対応の内容 | |
| | 執行段階において予算の範囲内で事業の優先順位等を考慮し、実施する予定です。 | |
| 対応しない場合 | ◇課題に対する局の考え方 | |
| | ◇対応する場合の課題 | |

令和2年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

| | |
|------|-------|
| 所管局名 | 環境創造局 |
|------|-------|

| | | | |
|------|----|-------|----------|
| 旭区 | | 土木事務所 | |
| 担当者名 | 川越 | TEL | 953-8801 |
| 共通区 | | | |

| | | |
|------|----|------|
| 継続年数 | 新規 | 添付資料 |
|------|----|------|

| 番号 | 提案種別 | 項目 |
|---|--|-------------------------------------|
| 18 | 予算関連 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 制度関連 | <input type="checkbox"/> |
| 地域のニーズと解決策 | 南本宿公園改良整備事業 | |
| | ◇地域の課題、基礎データ等 | |
| | <p>1 南本宿公園（地区公園、約49,800m²）は、旭土木事務所管理の公園で面積が1番広く、小学校・中学校・地域ケアプラザなどの多くの公共施設に囲まれ、二俣川駅からのアクセスもよく、散歩道として多くの区民に利用されています。</p> <p>2 樹林地が中心の公園ですが、現状は防犯面や園路、排水不良などの多くの課題を抱えています。</p> | |
| | ◇地域ニーズ等の収集手段 | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他（職員提案） | |
| | ◇区民からの具体的な要望 | |
| | <p>・改良により、排水、樹木の伐採、園路の対策が望まれています。</p> | |
| ◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 | | |
| <p>1 維持委託による管理 2 愛護会会長との協議</p> | | |
| ◇課題解決のための方策 | | |
| <p>1 防犯面：密集した樹木を間伐することにより、見通しを良くします。 2 園路：老朽化した園路の再整備を行い、健康遊具や標識を設置し「健康みちづくり」を行います。 3 排水：排水不良の改良とあわせて浸水対策に寄与するグリーンインフラの整備を行います。</p> | | |
| 提案内容・概算額等 | <p>1 密集樹木の間伐 2 園路等再整備 3 排水設備改良</p> | |
| 参考：区執行体制上の課題 | 現行の体制で対応 | |
| 局事業名 | 公園整備事業 | |
| 所管局課・担当者 | 環境創造局公園緑地維持課 池上係長 | |

◆局回答内容

| | | | |
|-------|----|---------|----------|
| 環境創造局 | | 公園緑地維持課 | |
| 担当者名 | 池上 | TEL | 671-3809 |

| 対応の有無 | 対応する | 既存の事業で対応する |
|---------|-------------------------|------------|
| 対応する場合 | ◇対応の内容 | |
| | 公園緑地整備費、下水道整備費は局が負担します。 | |
| 対応しない場合 | ◇課題に対する局の考え方 | |
| | ◇対応する場合の課題 | |